

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

①第三者評価機関名

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会 福祉介護サービス評価センター

②施設・事業所情報

名称：社会福祉法人檸檬会由良町立ゆらこども園	種別：保育所型認定こども園
代表者氏名：萩野 幸美	定員（利用人数）：135名（現：82名）
所在地：和歌山県日高郡由良町畑162-3	
TEL：0738-65-2050	ホームページ：lemonkai.or.jp/school/kodomo/yura-yura-kodomoen/
〔施設・事業所の概要〕	
開設年月日 2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人檸檬会	
職員数	常勤職員：22名 非常勤職員：3名
専門職員	（専門職の名称）名
	保育士：19名
	調理師：3名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等） 保育室、園庭、調理室

③理念・基本方針

理念：カラフルな○△□（こせい）が、凸凹（ひずみ）ある世界で躍動する、ソーシャルインクルージョンの実現
基本方針：共に生きる・誠実に向き合う・可能性を育てる・自ら躍動する

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・0歳から2歳児（乳児）は、「育児担当保育」を実施し、丁寧な保育を心がけている。その取組により、乳児は安全・安心した園生活を送ることができている。
- ・3歳から5歳児（幼児）は、「こども発のつながる保育」を実践している。保育士の指示的な遊びではなく、こどものつづやき等から、こどもの興味関心をとらえ、それを様々な遊びに広げていく取組であり、こどものもっている主体性・積極性を引き出すことができている。
- ・幼児教育に合った遊びが出来る環境づくりのための「ゆらこども園園庭プロジェクト」が継続中である。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年6月2日（契約日）～
	令和8年1月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（令和3年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・複数職員の聞き取り調査から、「職員の間関係がよく、お互いに気軽に声を掛け合ったりできる、明るい職場である。」等の話を聞き、また、10年以上にわたり勤務する職員も複数名いることから、働きやすい職場ということが結果としてあらわれている。この人的環境の良さが、職員が互いに協力や相談ができる体制であると同時に、職員自身が笑顔で過ごせ、安定した保育実践にもつながっている。
- ・保育室の机やロッカー等は、温もりを感じる木材がふんだんに使用され、落ち着いた環境をつくっている。また、園舎の廊下も広くてゆったりとした空間となっている。広く長い直線廊下は、こどもたちが走ってしまう衝動になるのを抑えるため、廊下の中央に観葉植物を置くことで、安全に配慮している。
- ・月に一度、「アート研修」「乳児保育研修」「つながる保育研修」を職員が受ける機会があり、その研修成果を研修受講者だけにとどまらせるのではなく、園内保育全体の教育実践に活かすことができている。

◇改善を求められる点

- ・中・長期計画のビジョンは示されているが、具体的な内容が示されていないため、どのような園づくりを目指して取組が行われているのか、明文化が望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業者のコメント

自園の評価、ありがとうございました。
法人のビジョンから、中・長期計画を実施するとともに、様々なニーズに合わせながら、ソーシャルインクルージョンの実現に向け、安心安全な施設を継続していきます。
また、園の利用終了後（卒園後）も保護者の方が相談できる窓口を設け、地域と共に子育てをサポートできるよう貢献していきたいと思ます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事業について公表する。

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
 ○評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
 ○また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
 ○「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「☐・☑」)。

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は☐にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	☑	ア 理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	理念・基本方針が明文化され「入園説明資料」に詳しく記載されている。また、入園説明会にて、一人ひとりの保護者と十分に時間をとって面接し、その際にしっかりと説明されている。		☑	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			☑	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			☑	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			☑	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			☑	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は☐にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	☑	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	法人本部が、社会福祉事業全体の動向を把握すると共に、由良町とも情報交換をして、園の運営が行われている。		☑	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			☑	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	☑	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	法人本部から3か月毎に収支表が送られてきており、その内容が園の職員全体に周知されている。		☑	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			☑	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は☐にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	☑	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☐	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	法人理念・保育方針についての研修がなされ、ビジョンは明文化されている。しかし、中・長期計画としての具体的な内容が示されていないため、今後、具体的な内容を明文化することが望まれる。		☐	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			☐	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	☐	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	ビジョンは明確にされているが、中・長期計画の内容が示されていない。単年度の具体的な事業計画、保育計画等の内容は、明文化され、園全体で共有し実施されている。		☑	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			☑	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

保育所版 評価結果シート②
【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しを組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
判断した理由・特記事項等 法人理念を基にしながらも、職員の意見表明の場が有り、職員の意見を集約、反映した事業計画の策定が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
判断した理由・特記事項等 令和6年に保護者会がなくなり、全体の保護者が集まる機会はないが、それに代わり各学年の参観の後、保護者に事業計画等を説明している。また、保護者に配布する園だより等に事業計画等を掲載している。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
判断した理由・特記事項等 3か月または4か月毎に、「こどもの人権チェックシート」「不適切保育自己チェックシート」を活用している。その結果を全職員に伝え、園全体で質の向上に向けた取組がなされている。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
判断した理由・特記事項等 「こどもの人権チェック」「不適切保育自己チェック」を行い、園全体で質の向上に向けた取組がなされている。しかし、その結果を踏まえた改善計画までには至っていないため、今後の取組として、課題を浮き彫りにし、改善計画に活かすことが期待される。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
判断した理由・特記事項等 施設長は、自らの職務分掌を明文化すると共に、有事の際の職員の役割分担も含め全職員に周知している。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
判断した理由・特記事項等 遵守する法令等は、詳しい資料が作成されており、全職員に周知している。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

保育所版 評価結果シート②
【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	保育の質の向上のために、法人が行うキャリアアップ研修並びに様々な研修に、職員が参加出来るように計画・実施されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	法人理念に基づき、全職員が参加しまとめた事業計画書を、年度初めの全体会議にて見直しをしている。また、毎月の職員会議や年齢別月案会議等で改善するようにしている。収支の見え化にも取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	「園パンフレット」を作成し、町教育課、法人本部の人事部と共有し、パンフレットを配布するなど、職員採用に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等)に関する基準が明確に定められ、職員等に周知されている。
	職員一人ひとりが「個人目標カード」で目標を設定し、それに基づいて職員面接が実施されている。また、「フィードバックシート」を作成し、職員一人ひとりの育成・処遇評価が適切に行われている。さらに、職員が互いに同僚の保育の良さをたえ合うように「施設MVP」を設けている。法人内の「マネージャーチャレンジ」(管理者登用試験)についても、職員に周知されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	日々書類作成の時間を勤務時間内に持てるように、ノーコンタクトタイムを設け、その時間にはフリーの保育士に保育室に入ってもらえるように、園全体で配慮した取組をしている。年休消化にも配慮し、職場全体で取得しやすい職場作りが出来ている。今後、職場でのレクリエーション等、福利厚生面での取組も組み入れて、更に働きやすい職場作りが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	職員は、「個人目標カード」を作成し、それに基づき施設長と年2回の面談を行っている。また、新卒者には、3か月、6か月面談と、それ以上の面談を実施し、保育の質の向上に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	法人のビジョンに基づき、計画的に教育・研修が実施されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	法人内に置いて、新人研修、2年、3年、5年目の中堅フォローアップ研修を実施するなど、研修の機会が確保されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	「保育実習受け入れプログラム」が明文化され、綿密な計画の基に取組がなされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	「ゆらこども園」パンフレット、フェイスブック、ホームページ等で、情報公開を行っている。また、第三者評価の受審結果も公表している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	法人監査を実施し、毎年行政監査を受けると共に、法人内の外部公認会計士による監査も実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

保育所版 評価結果シート②
【共通評価基準】

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
地域の方々を、園行事「ゆらギャラリー」へ招待をしたり、地域行事の「由良70周年記念イベント」に4歳児、5歳児が参加する等、地域との交流を広げる取組が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
「ボランティア受け入れガイドライン」を明文化し、積極的にボランティアを受け入れる取組を行っている。中学生の職場体験や、夏休みには中学生のボランティア体験を実施している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
児童相談所、由良町教育課、健康福祉課等の関係機関と連携し、適時ケース会議や発達相談が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。(保育所)
毎年、民生委員が来園し、園の方針や保育内容を説明するなど、地域のことを話し合う場を設けている。福祉課・教育課とも連携している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。(保育所)
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動(地域の子どもの育成・支援、子どもの貧困への支援等)を実施している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
地域の避難場所として、住民の安全・安心のための公益的な取組がなされている。今後、さらに計画的に地域の福祉ニーズに貢献する取組がなされるように期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

保育所版 評価結果シート②
【共通評価基準】

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	保育業務全般に関することを「檸檬会保育業務マニュアル」と明文化し、人権を大切にしている保育や、個人情報の管理等まで、細かく明記している。さらに、保育の面から「乳児保育実践の手順と留意点」「プール・水遊び実施の手引き」、食事の面から「食物アレルギー対応マニュアル」「衛生管理マニュアル」、送迎の面から「バス利用マニュアル」というように、子どもを尊重した保育に園全体で取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的な状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)	
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 規定・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。
	「業務マニュアル」の中に「プライバシーの尊重と保護」の内容が詳しく明記され、全職員で共通理解されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	法人ホームページ・園ホームページ・由良町ホームページ等に情報提供している。利用希望者に対しては、園の見学時に、パンフレット配布と共に詳しく説明している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	変更する場合は、書面にて説明すると共に、一斉メールや玄関掲示にて保護者に適切に伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	園の利用終了後にも、保護者が相談できる担当者を任命しておく等の取組が、今後期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 子どもの満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	保護者会が廃止され、全体の保護者会に代わり、保護者参観後に面談会を開催する等の取組が実施されている。また、保護者アンケートを実施し、その結果を職員会議で分析し、満足度向上のために活かしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面談や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等にも出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	6/8 評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)

保育所版 評価結果シート②
【共通評価基準】

34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	園内に意見箱を設置し、意見に対しては、職員会議等で改善策を検討している。また、年度明けに園のホームページにて、苦情件数を開示している。さらに、第三者委員を設置し、苦情解決に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	相談する場所は確保しているが、今後、相談を受ける担当者を決めておく等、意見を述べやすい環境整備が期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	園内に意見箱を設置し、保護者アンケートを実施するなどの取組がされている。今後、園独自の「クレーム対応マニュアル」の策定が望まれる。		<input type="checkbox"/>	ウ	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
			<input type="checkbox"/>	カ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	法人内での「事故対応マニュアル」が明文化されている。また、全職員でヒヤリハットの記録を共有し、事故防止に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	「感染症対応マニュアル」が、詳しく明文化され、職員で周知されている。感染症が園内に出た場合には、保護者には玄関掲示等で知らせ、注意喚起をする取組がなされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決まっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	事業計画に基づき、定期的な避難訓練を実施すると共に、安全確保のために、メール配信等で保護者に連絡する等の取組を行っている。また、園は地域の災害時避難所の役割を担っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
判断した理由・特記事項等			
保育の業務マニュアルが文章化され、それに基づき子ども一人ひとりの発達を踏まえた保育を提供するように努めている。そして、年一回環境評価スケールを用いて、全職員で保育の実践状況を点検、確認している。			
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
判断した理由・特記事項等			
標準的な実施方法の検証や見直しは、法人全体で進められているうちに、日頃の保育の実践については、その都度、職員会議等で検討し見直し、実践に反映させている。			
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 指導計画作成の責任者を設置している。 <input checked="" type="checkbox"/> イ アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ ささまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> オ 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> カ 計画の作成にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> キ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所) <input checked="" type="checkbox"/> ク 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
判断した理由・特記事項等			
全体計画及び年間計画は、職員全体会議で意見を出し合い作成し、指導計画は、子どもの入園時までの生育歴や家庭環境、現在の様子等を把握したうえで作成している。そして、子どもの発達に応じて、職員会議等で適宜チェックしながら、就学までの育ちの保障がなされている。			
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関する課題等が明確にされている。
判断した理由・特記事項等			
指導計画は、月末及び年度末に評価・反省を行い、見直している。また、保護者のニーズや子どもの発達の状況及び社会の変動等があれば、その都度、職員会議等で話し合い、適宜変更している。			
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 子ども発達の状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。 <input checked="" type="checkbox"/> カ コンピュータネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。
判断した理由・特記事項等			
紙面での記録要領は、作成されていないが、法人全体にKidsplusを導入して、保育記録の統一化が図られている。保育の実施状況については、年齢別会議等で検討を行い、職員間で情報を共有している。			
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 記録管理の責任者が設置されている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。 <input checked="" type="checkbox"/> カ 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。
判断した理由・特記事項等			
子どもの記録に関する個人情報の取り扱いに関して、保護者には入園の面接時に重要事項説明書を用いて説明している。また、職員は、業務マニュアルに記載されている記録の取り扱いを理解し、遵守されている。			

保育所版 評価結果シート③

【内容評価基準】

【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	☑	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。
	全体的な計画は、児童憲章や保育所指針等に基づき、保育所の理念・方針や目標を明文化し、子どもの発達過程や地域の実態なども考慮して作成されている。年度当初には、職員全体会議で話し合い、必要に応じた変更も行っている。		☑	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。
			☑	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。
			☑	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。
A-1.いる		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	園内は広々としていて、各部屋には落ち着いた色合いの木材の家具と、発達に合った遊びができるコーナーをつくり、子ども一人ひとりがゆったりと落ち着いて生活できる場となっている。また、お茶はいつでも飲めるように用意している。		☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
	3歳児クラスまでのトイレには、子どもが利用しやすい高さの手すりが取り付けられており、安全への配慮がされている。		☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	常に、子どもの気持ちを大切に受け止め、肯定的な言葉かけでおだやかに話しかける対応がされている。また、子どもの人権自己チェックを3か月ごとに実施して振り返り、不適切保育にならないよう努めている。		☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	育児担当保育を実践し、保育士がそれぞれ担当することの成長、発達に応じた援助を行っている。生活習慣の形成にあたっては、保護者と連携しながら、子どもが自分でやろうとする気持ちを大切に丁寧な保育に取り組んでいる。		☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	室内には、子どもの発達に応じたコーナーを作り、創造性が高まる環境を整えている。戸外では、自然に恵まれた立地を活かして、様々な遊びや園周辺への散歩に出かけ、社会ルールを学べる機会をつくっている。		☑	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。

保育所版 評価結果シート③
【内容評価基準】

		<input checked="" type="checkbox"/>	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等	<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	育児担当保育を実施し、保育士との愛着関係を育てる保育が行われている。こどもの発達状況等は、連絡帳や口頭で保護者に伝え、こどもが家庭の延長線上での生活で過ごせる環境づくりに努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等	<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	育児担当保育によって、子ども一人ひとりの発達を見極め、自分でしようとする気持ちを大切に保育が行われている。また、子どもが安心して自発的に生活や遊びの活動ができる、安全に配慮した環境が整えられている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中を仲立ちをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等	<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	こどもの意思決定を尊重し、こどもから発信した遊びを受け止め、こども主体で生活や遊びが広がっていく保育が実践されている。年長児については、年2回就学先の小学校と個別引継ぎを行う取組もしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等	<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	障害のある子どもについては、クラスの指導計画に関連した個別計画を作成し、こどもの気持ちを受け止めながら、集団の中できめ細かい保育が行われている。担任以外の保育士も、こどもの様子が共有できている。保護者の相談に応えられるように努めている。また、保健所や町教育課等の関係機関と連携し、発達相談も行われている。今後の取組として、障害に応じた施設設備などの環境への配慮が望まれる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等	<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	早期、延長保育の時間は、乳児と幼児に分かれて保育し、こども主体でゆったりと過ごせる環境を用意するなど、計画性のある取組がなされている。その時間帯に担任がいないこどもには、引継ぎノートを利用して、保護者との連携が十分とれるようにしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分とれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等	<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	小学校接続計画を作成して就学に向けた保育を實踐し、小学校教員との年2回の個別引継ぎや意見交換会を行い、こどもの発達の状況の共有が行われている。就学先に送付する保育所児童保育要録には、こどもの成長過程が丁寧に記録されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しを持てる機会が設けられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。

保育所版 評価結果シート③

【内容評価基準】

		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3) 健康管理		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
健康管理に関するマニュアルに基づいて、こども一人ひとりの健康状態が記録され、職員間での共有が図られている。感染症については、毎日保健所へ報告するとともに、保護者への情報提供を行っている。また、こどもの睡眠においては、乳幼児突然死症候群の防止のために、0歳児は5分に1回、1歳児と2歳児は10分に1回のチェックを行い、仰向け寝の保育に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの保健に関する計画を作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
健康診断等の結果の記録を関係職員が共有し、保育に反映するとともに保護者にも伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
アレルギー疾患の診断を受けたこどもの食事は、みんなと同じ物を食べたいこどもの気持ちを大切に、代替え食材を利用し調理を工夫している。弁当持参の場合、園の食器に移しかえ、出来る限り他の園児との差が少ないように努めている。また、テーブルは別にして安全への配慮もなされている。食事提供においては、保護者と調理員、保育士の連携も密にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
食育計画を作成し、野菜や米作りなどの経験をおとして、食べものへの関心が持てる取組がなされている。3歳児と3歳未満児は各保育室で、担当保育士に援助されながら食べている。4歳児、5歳児はランクルームで食事し、担当保育士と会話をしながら、正しい食生活が習慣化していくようになっている。また、食事の盛り付けは、それぞれクラスの担当保育士が、こども一人ひとりに応じた量に加减して配膳されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食器の材質や形などに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
		16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
地域の食材を使い、季節感を大事にした献立の他に、外国食が加えられている。また、同じ献立であっても盛り付けや切り方を工夫している。調理師がこどもの食べている様子を見学して、こどもが喜ぶ食事の献立作成に活かしている。衛生管理体制も確立していて、マニュアルに基づいた管理ができています。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 季節感のある献立となるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の食文化や行事食などを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ 衛生管理体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。

保育所版 評価結果シート③
【内容評価基準】

判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。	
保護者とは連絡帳による情報交換をはじめ、各クラスの取組をクラスだよりで発信したり、玄関へ掲示して理解を得る取組がなされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	
		A-2-(2) 保護者等の支援			評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。	
早朝延長保育及び土曜保育を実施している。その時間帯の当番保育士が、保護者から相談されたとき、すぐに応答できるよう、こどもの様子等を伝達ノートに記載し、情報の共有化が図られている。また、施設長や担任は、いつでも相談に応じる体制ができている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。	
法人作成の「児童虐待防止の手引き」に基づき、職員は日頃のこどもの様子を観察している。虐待を発見したり、虐待が行われる恐れがあるときには、職員間で情報を共有して、町役場や児童相談所に連絡するとともに、必要に応じて警察、小中学校とケース会議を実施するなど、必要な支援ができる体制ができている。		<input type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り (保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り (自己評価) を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り (自己評価) を行っている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。	
保育士等は、すべての保育実践において、自己評価が行われており、日々の保育内容の改善に生かしている。また、目標カードを用いて、職員個々に自己啓発にも取り組み、専門性の向上に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	